

事務事業マネジメントシート(平成30年度実績と平成31年度計画)

令和 2年 2月 21日 更新

事務事業名	子ども集会参加事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	3 教育の健康	所属部	教育委員会事務局	課長名	飯開 輝久雄
	施策	12 人権が尊重される社会づくり	所属課	人権啓発教育課	担当者名	二瀬 義継
	施策の柱	43 人権尊重についての理解と相談体制の充実	所属班	啓発教育班	(内線)	5 3 3 4
予算科目	会計一般	款 10	項 5	目 4	事業連番 10865	根拠法令
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 30年度で終了 <input type="checkbox"/> 30年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 9 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	熊本県子ども集会への参加する事業であり、平成9年5月に第1回集会が開催された。子どもを主体とした活動を通してすべての人々の人権意識の高揚を図るとともに、部落差別をはじめあらゆる差別をなくし、一人一人の人権が尊重される人権共存社会の実現をめざすために始まった。対象者は県内小・中・高等学校の児童生徒である。 平成29年度は、合志小学校6年生が学習成果を発表した。 例年、10月にパークドームが会場となっていたが、この時期が平成31年度は熊本県において国際的な2つのスポーツ大会が開催されるため、熊本城ホールで実施することになっている。
【業務の流れ】	市内各学校の児童・生徒に各学校協力のもと参加の有無の調査を行う。参加者数の確定後、バスの借上げ契約を行う。集会当日は、参加した児童・生徒の輸送に安全確保を行う。
【主な予算費目】	役員費、使用料及び賃借料
【意見や要望】	毎年参加者が増加しており、大型バス配置の増車の希望が出ている。 児童生徒参加者 815名、教職員参加者 181名

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 30年度実績(30年度に行った主な活動) (DO)	各学校に参加者の調査を行う。参加者の確定後バスの借上げ契約をし、集会までに各学校の担当の先生と協議して、当日の行動の予定、注意点などを打合せを行なった。 平成30年度は、大型バス12台及び市バスやスクールバスを使用し800名を超す児童生徒が参加した。	31年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 毎年開催される熊本県人権子ども集会への参加。各学校担当者との連絡調整を行う。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 人 ア: 参加者数 イ: 借り上げたバスの数	予算の主な増減の理由 支援学級児童・生徒送迎用の介護タクシー使用料の減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 児童・生徒	(単位) 人 ア: 児童・生徒の数	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) ア: 児童・生徒の数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 差別に負けない力をつけることができる。	(単位) 人 ア: 差別を見抜く力を身につけた人の数	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) ア: 差別を見抜く力を身につけた人の数
*③成果指標設定の理由と31年度目標値設定の根拠 集会に参加し、人権問題の理解を深め差別を見抜く力を身につけた人の数が増えて行くことが差別をなくす事につながっていく。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	28年度 実績(決算)	29年度 実績(決算)	30年度 目標(当初予算)	30年度 実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	2年度 予定	3年度 見込	4年度 見込	
① 活動指標	人	0	899	900	996	900	900	900	900	900	
	台	10	10	12	12	12	12	12	12	12	
② 対象指標	人	0	6,516	6,500	6,851	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	
	人	0	899	900	815	900	900	900	900	900	
③ 成果指標	人	0	899	900	815	900	900	900	900	900	
	人	0	899	900	815	900	900	900	900	900	
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計	一般財源	千円		931	1,139	1,086	1,121	1,121	1,121	1,121
		(A) 事業費計	千円	0	931	1,139	1,086	1,121	1,121	1,121	1,121
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(B) 人件費計	千円	0	336	318	256	318	318	318	0
人件費	正規職員従事人数	人	2	3	3	4	3	3	3		
	延べ業務時間	時間	80	85	80	65	80	80	80		
	(B) 人件費計	千円	0	336	318	256	318	318	318		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	1,267	1,457	1,342	1,439	1,439	1,439		

事務事業名	子ども集会参加事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	人権啓発教育課
-------	-----------	-----	----------	-----	---------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は30年度の事後評価、ただし複数年度事業は30年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①30年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 県下の小学校、中学校及び高校生の人権学習成果の発表があり、参加児童生徒の認識が深まり成果が上がった。
	②31年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 例年900名前後の参加者があり、次年度も各学校と連携し多くの参加が見込まれるため
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 学校と連携して一人でも多くの子どもに参加してもらえるよう周知を行っていく。また、当日に参加したことだけで終わらないように事後の学習についても学校で行ってもらいなどの取り組みが必要。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 類似事業は、他にない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業費は、材料及び賃借料と役員費（保険代）であり、これ以上の削減は見込めない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限の職員で対応しており、これ以上の人件費の削減は見込めない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 集会への参加者は、市内の小中学校の児童・生徒であり公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 本集会は、一人ひとりの人権の尊重等の学習の場でありまた、本市の子ども達が参加する集会であるため、行政が担うことは適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

本年も900名弱の参加があつている。今後も各学校と連携を密にし、一人でも多くの児童・生徒が参加できるようにしていく。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p> <input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない) </p> <p>本年度も900名を超える児童生徒の参加があり、各学校と連携を図り、参加する子どもたちの学習意欲を高める工夫が必要である。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						